

食品安全委員会の3月の運営について（報告）

1．食品安全委員会の開催

第133回 3月2日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（農薬「メタフルミゾン」）に関する厚生労働省から説明
- ・食品健康影響評価（新開発食品「燕龍茶レベルケア」について検討。同日付けで厚生労働大臣に通知）
- ・食品安全委員会の2月の運営について報告

第134回 3月9日（木）

- ・食品健康影響評価（動物用医薬品「ツラスロマイシン」について検討。同日付けで厚生労働大臣に通知）
- ・食品健康影響評価（動物用医薬品「鶏大腸菌症不活化ワクチン（“京都微研”ポールセーバーEC）」について検討。同日付けで厚生労働大臣及び農林水産大臣に通知）
- ・農薬専門調査会における審議状況について報告（「メトコナゾール」に関する審議結果について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・微生物専門調査会における審議状況について報告（冷凍パン生地に関する審議結果について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・新開発食品専門調査会における審議状況について報告（特定保健用食品「オーラルヘルスタブレット カルシウム&イソフラボン」、「イソフラボンみそ」及び「大豆イソフラボン40」並びにその別添として取りまとめられた「大豆イソフラボンを含む特定保健用食品の安全性評価の基本的な考え方（案）」に関する審議結果について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・「食の安全ダイアル」に寄せられた質問等について報告（2月分）

第135回 3月16日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（添加物「水酸化マグネシウム」）に関する厚生労働省から説明
- ・農薬専門調査会における審議状況について報告（「シアゾファミド」に関する審議結果について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・動物用医薬品専門調査会における審議状況について報告（「エンロフロキサシン」に関する審議結果について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）

第136回 3月23日(木)

- ・食品安全モニターからの報告について(2月分)
- ・アガリクスを含む製品の食品健康影響評価の進め方について報告

第137回 3月30日(木)

- ・食品健康影響評価(「アルギン酸」について検討。同日付けで厚生労働大臣に通知)
- ・「平成18年度食品安全委員会運営計画」(案)について検討。寄せられた意見を踏まえ一部修正した上で決定
- ・牛海綿状脳症(BSE)に関する報告等について厚生労働省及び農林水産省から説明
- ・平成18年度食品安全モニターの依頼について報告
- ・食品の安全性に関する用語集(改訂版追補)について報告

2 専門調査会の運営

(1) リスクコミュニケーション専門調査会

第23回 3月20日(月)

- ・効果的なリスクコミュニケーションの推進を図るための手法について、吉川肇子専門委員、千葉百子専門委員及び中村雅美専門参考人による講演(講演1「リスクコミュニケーション上の留意点：心理学の観点から」、講演2「環境がもたらした健康被害 - 食品との関係からリスクコミュニケーションを考える -」、講演3「リスクコミュニケーションとは? - 私が考えていること -」)
- ・「食の安全に関するリスクコミュニケーションの改善に向けて(仮題)」について検討
- ・三府省におけるリスクコミュニケーションに関する取組について報告

(2) 緊急時対応専門調査会

第17回 3月6日(木)

- ・緊急時対応要綱等について検討
- ・緊急時対応専門調査会の今後の取組について検討

(3) 農薬専門調査会

第42回 3月1日(水)

- ・「クロルフェナピル」及び「シアゾファミド」について検討し、
について、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(4) 動物用医薬品専門調査会

第 4 8 回 3 月 1 6 日 (木) 第 1 7 回 肥料・飼料等専門調査会と合同で開催

- ・「飼料添加物モネンシンナトリウム」について検討

第 4 9 回 3 月 2 9 日 (水)

- ・ドラメクチンを有効成分とする製造用原体(ドラメクチン)並びに牛及び豚の注射剤(デクトマックス)の再審査について検討し、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

第 5 0 回 3 月 2 9 日 (水) 非公開

- ・ 「 d - クロプロステノールを有効成分とする牛及び豚の注射剤 (ダルマジン) 」及び 「 エトキサゾールを主成分とする動物用殺虫剤及びエトキサゾール(原薬) 」について検討し、 について、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(5) 汚染物質専門調査会

第 1 2 回 3 月 1 4 日 (火)

- ・食品からのカドミウム摂取の現状に係る安全性確保について検討

(6) 微生物専門調査会

第 1 4 回 3 月 1 5 日 (水) 第 8 回 ウィルス専門調査会と合同で開催

- ・食品安全委員会が自らの判断により食品健康影響評価を行うべき食中毒原因微生物に関する案件の選定について検討

(7) ウィルス専門調査会

第 8 回 3 月 1 5 日 (水) 第 4 回 微生物専門調査会と合同で開催

- ・食品安全委員会が自らの判断により食品健康影響評価を行うべき食中毒原因微生物に関する案件の選定について検討

(8) 遺伝子組換え食品等専門調査会

第 3 8 回 3 月 2 4 日 (金) 非公開

- ・飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令の規定に基づき基準を定めることについて検討
- ・「チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ B t 1 0 」について検討し、食品安全委員会に報告することを決定
- ・「 L - グルタミン」について検討し、食品安全委員会に報告することを決定
- ・「ジェランガム K 3 B 6 4 6 」について検討

(9) 新開発食品専門調査会

第34回 3月15日(水)

- ・「コエンザイムQ10」について検討し、食品安全委員会に報告することを決定
- ・アガリクスを含む製品に係る調査会での審査方法について検討し、食品安全委員会に報告することを決定

第35回 3月15日(水) 非公開

- ・「ガイオ タガトース」について検討し、その結果を踏まえ修正した上で食品安全委員会に報告することを決定

(10) 肥料・飼料等専門調査会

第17回 3月16日(木) 第48回動物用医薬品専門調査会と合同で開催

- ・「飼料添加物モネンシンナトリウム」について検討

3. 意見交換会等の開催

意見交換会

3月2日(木) 食品に関するリスクコミュニケーション(大豆イソフラボンを含む特定保健用食品の食品健康影響評価(案)に関する意見交換会) <東京都千代田区>

- ・食品安全委員会の主催により、「大豆イソフラボンを含む特定保健用食品の食品健康影響評価(案)に関する意見交換会」を東京都千代田区にて開催し、上野川修一新開発食品専門調査会座長(日本大学教授)からの導入の後、山添康新開発食品専門調査会専門委員(東北大学大学院教授)から、「大豆イソフラボンを含む特定保健用食品の食品健康影響評価(案)について」のテーマで講演を行うとともに、消費者代表、食品関連事業者等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施

3月27日(月) 食品に関するリスクコミュニケーション(輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会) <新潟市>

- ・食品安全委員会、厚生労働省・関東信越厚生局、農林水産省・北陸農政局、新潟県及び新潟市の主催により、「輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会」を新潟県新潟市にて開催し、厚生労働省から、「輸入食品の安全確保について」及び「残留農薬等のポジティブリスト制度の導入について」のテーマで説明を行うとともに、消費者代表、生産者代表等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施

3月30日(木) 食品に関するリスクコミュニケーション(東京) - 重金属と食品の安全性 - <東京都千代田区>

- ・ 食品安全委員会の主催により、「食品に関するリスクコミュニケーション（東京） - 重金属と食品の安全性 - 」を東京都千代田区にて開催し、グンナー・ノルドバーグ博士（スウェーデン・ウメオ大学教授）から、「重金属 - 食品の安全性にどのように影響するのか？」のテーマで、モニカ・ノルドバーグ博士（スウェーデン・カロリンスカ研究所准教授）から、「食品毒性学から見たメタロチオネインの作用」のテーマで、それぞれ講演を行うとともに、佐藤洋汚染物質専門調査会座長（東北大学大学院教授）をコメンテーターに迎え、会場参加者との意見交換を実施

4 . その他

- ・ 季刊誌「食品安全 - 共に考えよう、食の科学 - vol. 8 」を発刊